

原子カシステム研究開発事業 —基礎研究開発分野—  
革新技術創出発展型 事後評価総合所見

<p>研究開発課題名: 液体金属中で適用可能な摩擦攪拌接合補修装置の開発          研究代表者(研究機関名): 森本 将明(三菱重工業株式会社)          再委託先研究責任者(研究機関名): 中田 一博(国立大学法人大阪大学)</p> <p>研究期間及び研究経費: 平成21年度～平成23年度(3年計画) 561百万円</p>	
項目	要 約
1. 研究開発の概要	<p>液体金属であるナトリウムを冷却材として用いる高速増殖炉の原子炉容器内機器に万一欠陥が生じた場合に、軽微な欠陥の段階で炉心退避、冷却材ドレンをすることなく、摩擦攪拌接合により液体金属環境で補修することのできる世界的にも例のない装置を開発する。</p>
2. 総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>・摩擦攪拌接合の要素技術開発については様々な工夫がなされ、エンドホールの埋め戻し技術、加工に伴うバリの除去機構の開発等、多くの興味深い優れた成果が挙げられている。実用化に向けて摘出した課題について、解決法の提案と実証を進めてもらいたい。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている。  <b>A) 優れた成果が挙げられている。</b>          B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている。          C) 部分的な成果に留まっている。          D) 成果がほとんど挙げられていない。</p>